

# 2015年3月期 連結決算説明資料

双葉電子工業株式会社

2015年5月14日

# 目次

● 経営施策の状況	P 1 ~ 3
● 連結決算のポイント	P 4
● 業績ダイジェスト	P 5 ~ 6
● 営業利益増減分析	P 7
● セグメント別業績状況	P 8 ~11
● 四半期別業績推移	P12 ~13
● 貸借対照表の概要	P14
● キャッシュ・フロー	P15
● 翌期の経営施策	P16
● 業績見通し	P17 ~19

# 経営施策の状況

## 電子部品事業

### 【売上拡大施策】

- ウェアラブル製品向け(フィルムタイプ)有機ELディスプレイの販売拡大
- 海外拠点における純正車載向けタッチパネルの生産能力増強
- 車載向けヘッドアップディスプレイの販売拡大
- POS用途向けディスプレイの新興国への販売拡大

### 【収益改善施策】

- 生産性・工程品質の改善によるコスト低減の推進
- 部品・材料の最適地調達によるコスト低減の推進



ウェアラブル製品向け  
有機ELディスプレイ



車載向け  
タッチパネル



車載向け  
ヘッドアップディスプレイ

# 経営施策の状況

## 電子機器事業

### 【売上拡大施策】

- マルチコプター向けプロポ(T14SG等)の販売拡大
- 上級者向けカー用プロポ(T4PX等)の販売拡大
- 産業用(トラッククレーン・農業用)における無線機器の販売拡大
- コマンド方式サーボモーターやアクチュエータの新分野への拡販

### 【収益改善施策】

- 日本および台湾子会社による効率的な開発体制の推進
- 最適地の生産、購買、出荷体制構築によるコスト低減の推進



プロポ  
(左からT14SG、T4PX)

産業用無人ヘリコプター向け無線機器  
(ヤマハ発動機「FAZER」)



O.S.模型用エンジン  
(Championshipモデル)

# 経営施策の状況

## 生産器材事業

### 【売上拡大施策】

- 韓国子会社のプレート・鋼材販売および大型モールドベース事業の拡大
- 国内のプレート事業強化による販売拡大
- ホットランナーシステムとして金型への組付が容易なコンパクトランナシリーズの拡充
- モールドマーチャリングシステムの製品ラインアップの拡充

### 【収益改善施策】

- 鋼材の最適地調達によるコスト低減の推進
- 加工技術の改善によるコスト低減の推進



コンパクトランナシリーズ



プレート  
(フリスフリー)



モールドマーチャリングシステム  
(アナログ出力型アンプ MPV04)

# 連結決算のポイント

## ■ 連結売上高

主に有機ELディスプレイの大幅な増加や韓国・中国などのアジア市場が底堅く推移したことに加え、為替の好影響により、前期に対して58億円増収

## ■ 連結営業利益

売上増加による増益効果はあったものの、貸倒引当金などの固定費増加や新規事業のコスト回収不足などにより、前期に対して3億円減益

## ■ 連結当期純利益

円安の影響による外貨建資産・負債の評価に伴う為替差益18億円を営業外収益に計上したものの、減損損失19億円を計上したことにより、6億円の最終利益となる

# 業績ダイジェスト(1)

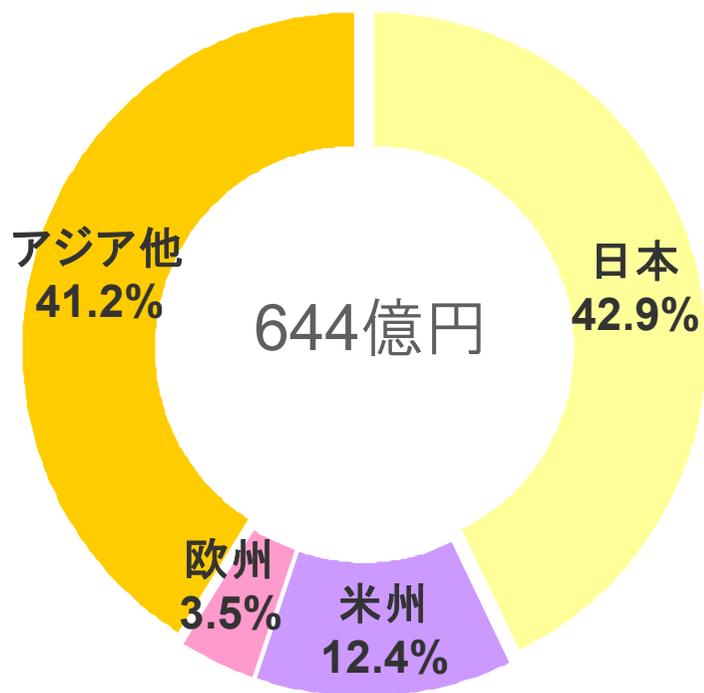
(金額単位:百万円)

	'13年度 (実績)	'14年度 (計画)	'14年度 (実績)	計画比		前期比	
				増減額	比率	増減額	比率
売上高	64,350	<b>69,700</b>	<b>70,141</b>	441	100.6%	5,791	109.0%
営業利益 利益率(%)	2,215 (3.4)	<b>2,500</b> (3.6)	<b>1,901</b> (2.7)	<b>▲598</b>	76.1%	<b>▲314</b>	85.8%
(為替差損益)	<b>(801)</b>	<b>(364)</b>	<b>(1,794)</b>	(1,430)	493.0%	(993)	224.0%
経常利益 利益率(%)	3,787 (5.9)	<b>3,700</b> (5.3)	<b>4,330</b> (6.2)	630	117.0%	542	114.3%
税引前当期純利益 利益率(%)	3,385 (5.3)	<b>3,312</b> (4.8)	<b>2,304</b> (3.3)	<b>▲1,007</b>	69.6%	<b>▲1,080</b>	68.1%
当期純利益 利益率(%)	1,796 (2.8)	<b>1,500</b> (2.2)	<b>567</b> (0.8)	<b>▲932</b>	37.8%	<b>▲1,229</b>	31.6%
設備投資	6,078	<b>7,000</b>	<b>5,936</b>	<b>▲1,063</b>	84.8%	<b>▲142</b>	97.7%
減価償却費	3,679	<b>4,200</b>	<b>4,046</b>	<b>▲153</b>	96.4%	367	110.0%
研究開発費	1,892	<b>1,800</b>	<b>1,749</b>	<b>▲50</b>	97.2%	<b>▲143</b>	92.4%
国内	1,375人	<b>1,397人</b>	<b>1,373人</b>	<b>▲24人</b>		<b>▲2人</b>	
海外	3,804人	<b>3,996人</b>	<b>3,851人</b>	<b>▲145人</b>		47人	
人員	5,179人	<b>5,393人</b>	<b>5,224人</b>	<b>▲169人</b>		45人	
平均為替レート	100円/\$	<b>104円/\$</b>	<b>110円/\$</b>	6円/\$		10円/\$	

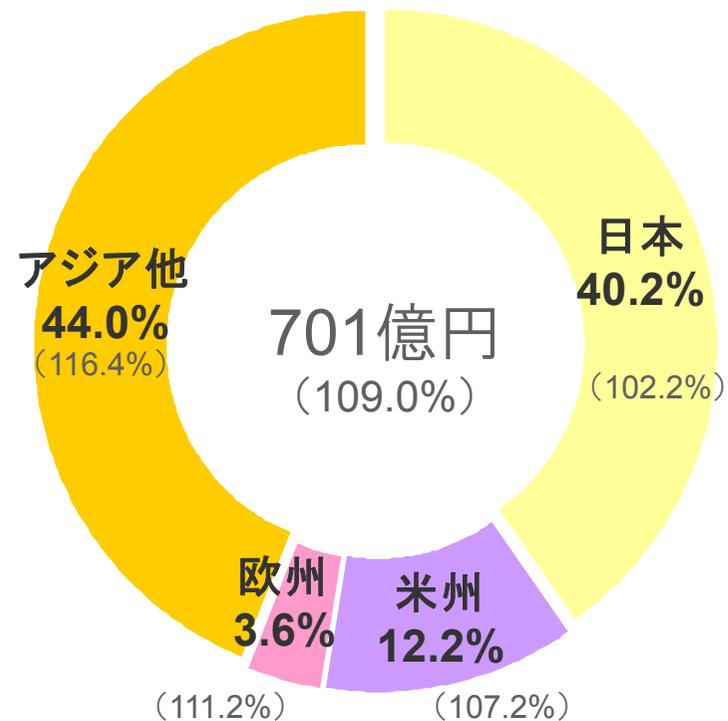
# 業績ダイジェスト(2)

## 市場地域別売上高構成比

※( )内は前期比



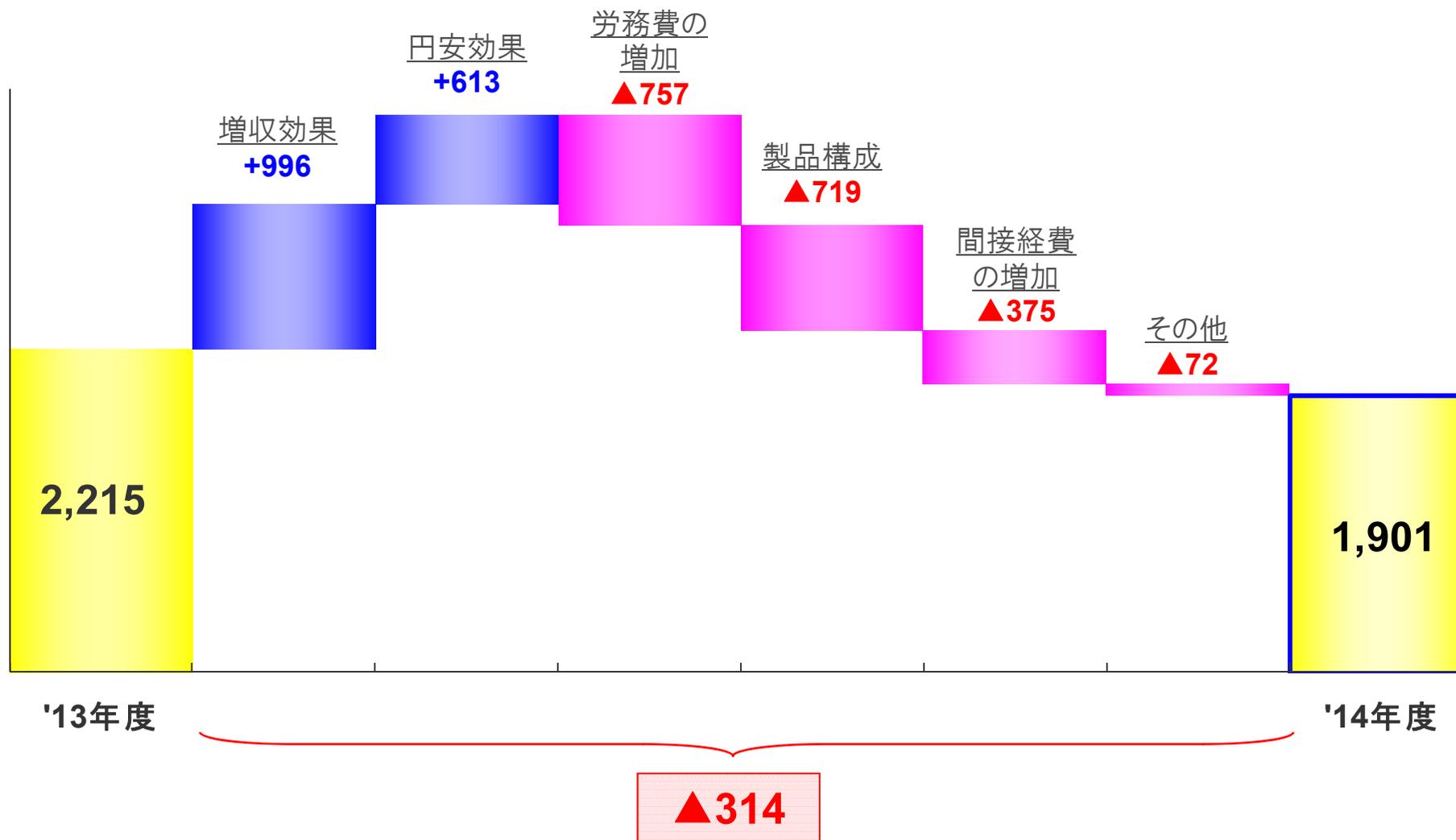
'13年度



'14年度

# 営業利益増減分析

金額単位:百万円  
(対前期)



# セグメント別業績状況(電子部品事業)

(金額単位:百万円)

	'13年度	'14年度	前期比
	通期(実績)	通期(実績)	
売上高	24,034	<b>25,977</b>	108.1%
営業利益	<b>▲2,023</b>	<b>▲2,533</b>	—
利益率(%)	( <b>▲8.4</b> )	( <b>▲9.8</b> )	
設備投資	2,634	<b>3,391</b>	128.7%
減価償却費	1,680	<b>1,821</b>	108.4%
研究開発費	1,215	<b>1,124</b>	92.5%
人 員	2,294人	<b>2,294人</b>	

※ セグメント別の売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

- 蛍光表示管は、音響用途は前期並みに推移し、主力である車載用途は、国内はヘッドアップディスプレイの拡販などの効果があったものの、海外での需要が低迷したことから、売上げは前期を下回る。
- 蛍光表示管モジュールは、海外市場において、主力のPOS用途に加え、自動車用途や計測器用途が好調であったことから、売上げは前期を上回る。
- 有機ELディスプレイは、前期に本格参入した車載用途や採用が増加しているウェアラブルなどの通信機器用途が大幅に伸長し、売上げは前期を上回る。
- タッチパネルは、一部製品の出荷が当初計画より後ろ倒しになったものの、車載用途を中心として売上げは前期を上回る。
- 固定費の増加や製品構成の変化などにより、営業損失の拡大となる。

# セグメント別業績状況(電子機器事業)

(金額単位:百万円)

	'13年度	'14年度	前期比
	通期(実績)	通期(実績)	
売上高	9,031	<b>10,005</b>	110.8%
営業利益	1,919	<b>2,037</b>	106.1%
利益率(%)	(21.2)	<b>(20.4)</b>	
設備投資	190	<b>234</b>	123.2%
減価償却費	196	<b>230</b>	117.2%
研究開発費	343	<b>383</b>	111.9%
人 員	490人	<b>480人</b>	

※ セグメント別の売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

- ホビー用ラジコン機器は、模型飛行機（スカイリーフ）の機体ラインアップの拡充やカー用プロポの上級機である「4PX」を投入したことから、売上げは前期を上回る。
- 産業用ラジコン機器は、トラッククレーン向けが順調で、農業関連向けやFA(生産関連)向けなどのテレコントロール製品も堅調であったことから、売上げは前期を上回る。
- 模型用エンジンは、新製品を発売したことなどから、売上げは前期を上回る。
- ロボット用機能部品は、大手パートワーク(分冊百科)販売会社に供給しているコマンド方式サーボモーターを海外でも販売したものの、需要が落ち着いてきたため、売上げは前期を下回る。
- 貸倒引当金などの固定費が増加したものの、売上げが好調であったことから、営業利益は前期を上回る。

# セグメント別業績状況(生産器材事業)

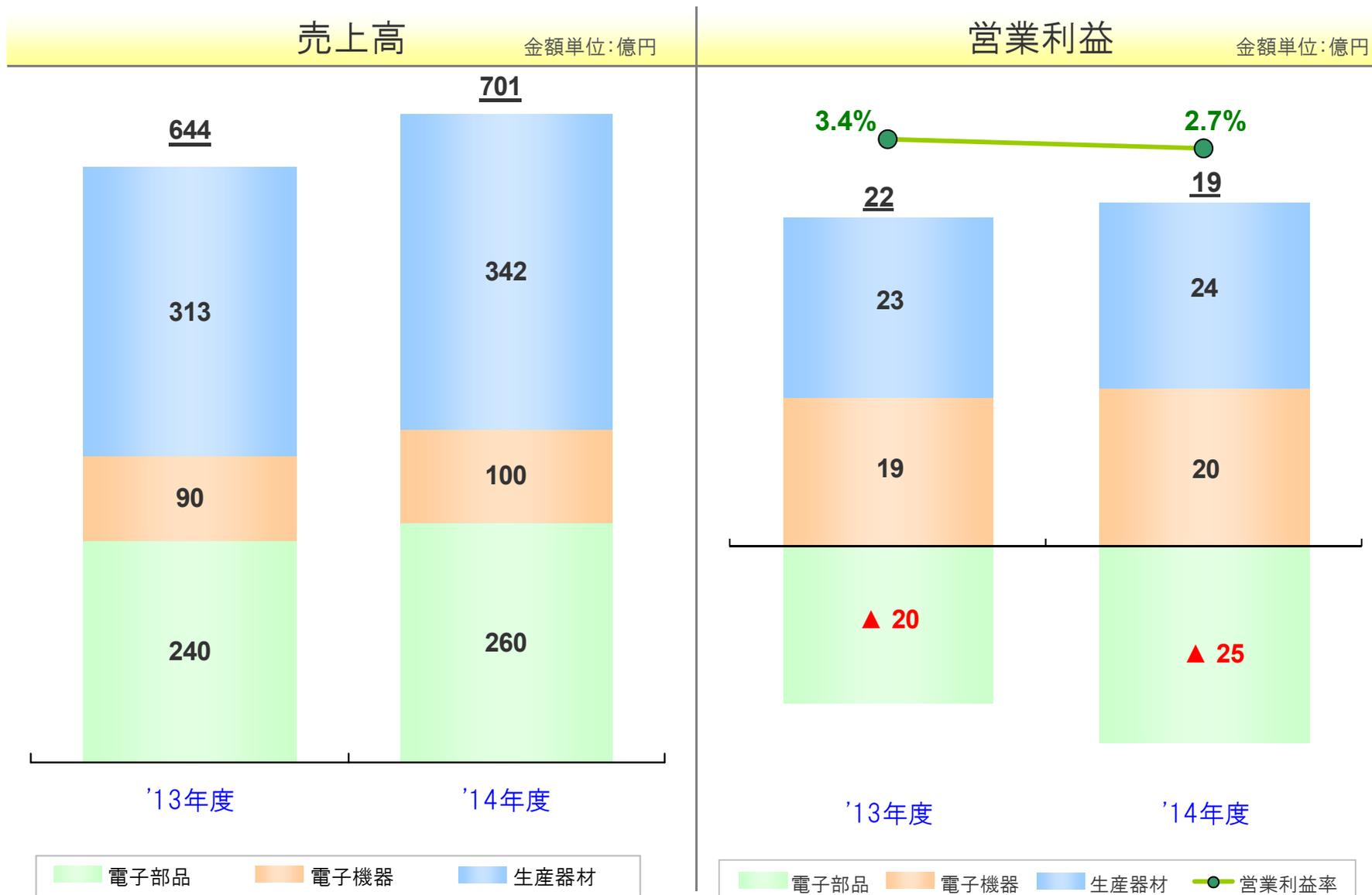
(金額単位:百万円)

	'13年度	'14年度	前期比
	通期(実績)	通期(実績)	
売上高	31,290	<b>34,160</b>	109.2%
営業利益	2,320	<b>2,398</b>	103.3%
利益率(%)	(7.4)	(7.0)	
設備投資	3,254	<b>2,310</b>	71.0%
減価償却費	1,802	<b>1,994</b>	110.7%
研究開発費	334	<b>241</b>	72.3%
人 員	2,257人	<b>2,281人</b>	

- 国内では、プレート製品がラインアップの拡充や価格改定などの施策を実施したことから売上げを伸ばし、ホットランナやモールドマーチャリングシステム、省力機器などの成形合理化関連製品も順調であったことから、売上げは前期を上回る。
- 海外では、主力の韓国市場において、自動車向けはやや低調であったものの、スマートフォン向けが底堅く推移し、中国市場も緩やかに持ち直したことから、売上げは前期を上回る。
- 固定費の増加はあったものの、アジア市場が底堅く推移したことにより、営業利益は前期を上回る。

※ セグメント別の売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

# セグメント別業績状況



※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

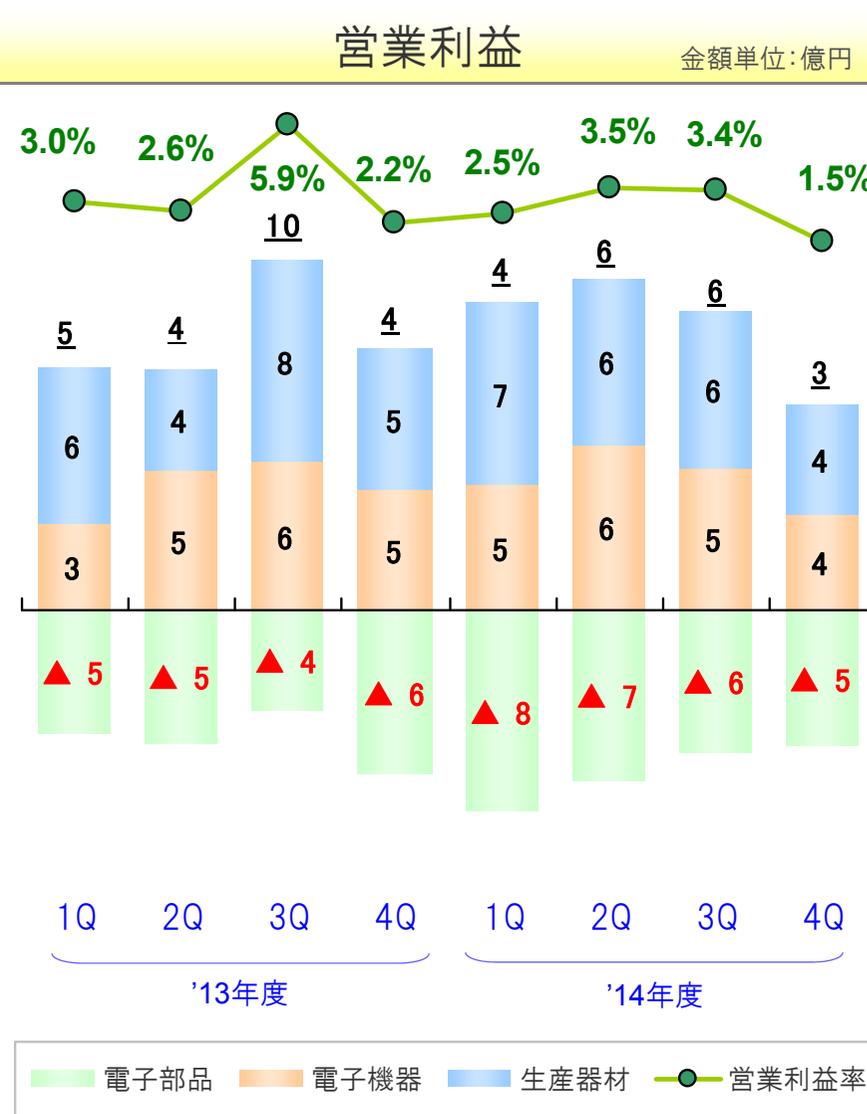
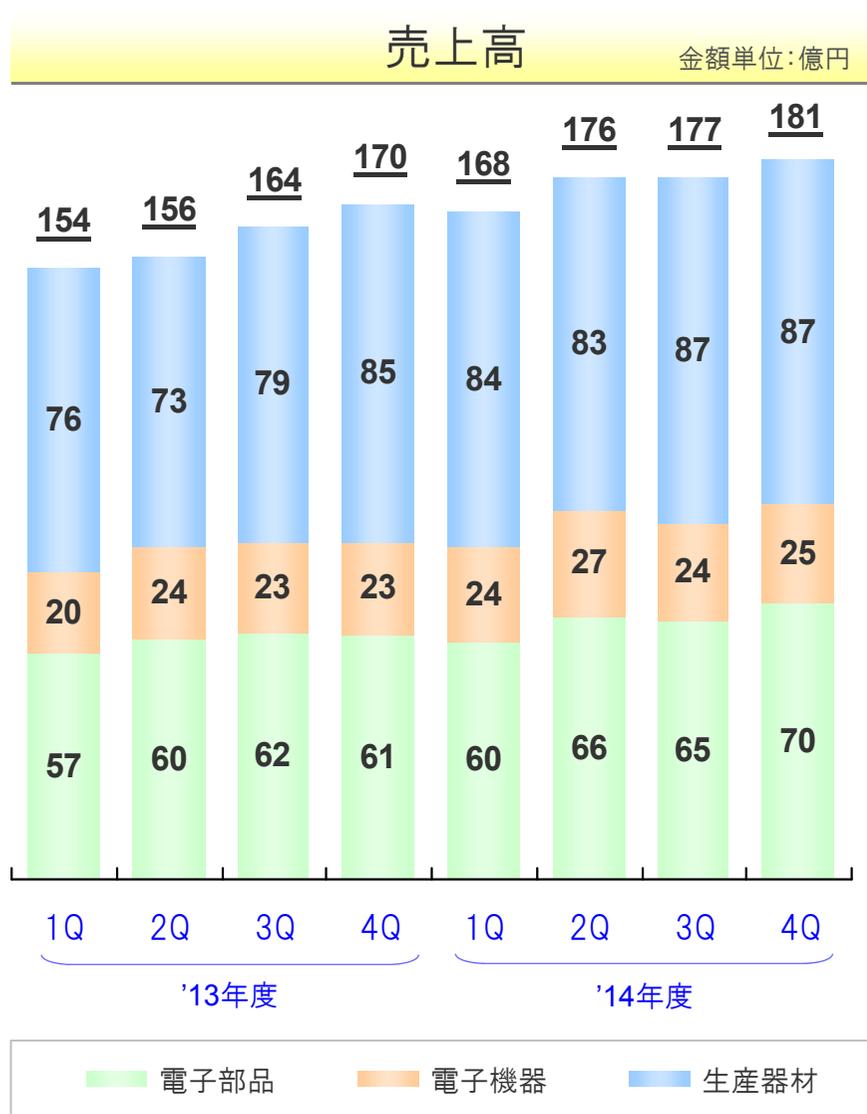
# 四半期別業績推移(1)

(金額単位:百万円)

	'13年度				'14年度				前年同期比		直前四半期比	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	増減額	比率	増減額	比率
電子部品	5,711	6,014	6,176	6,131	5,959	6,570	6,495	<b>6,951</b>	820	113.4%	456	107.0%
電子機器	1,997	2,370	2,319	2,343	2,401	2,707	2,424	<b>2,472</b>	128	105.5%	48	102.0%
生産器材	7,648	7,259	7,894	8,488	8,409	8,339	8,735	<b>8,677</b>	188	102.2%	<b>▲57</b>	99.3%
売上高	15,352	15,643	16,390	16,963	16,768	17,616	17,654	<b>18,101</b>	1,137	106.7%	447	102.5%
電子部品 利益率(%)	<b>▲479</b> (▲8.4)	<b>▲515</b> (▲8.6)	<b>▲392</b> (▲6.4)	<b>▲635</b> (▲10.4)	<b>▲778</b> (▲13.1)	<b>▲665</b> (▲10.1)	<b>▲558</b> (▲8.6)	<b>▲531</b> (▲7.6)	104	—	27	—
電子機器 利益率(%)	327 (16.4)	544 (23.0)	576 (24.9)	470 (20.1)	484 (20.2)	639 (23.6)	547 (22.6)	<b>365</b> (14.8)	<b>▲104</b>	77.8%	<b>▲181</b>	66.9%
生産器材 利益率(%)	610 (8.0)	385 (5.3)	779 (9.9)	545 (6.4)	711 (8.5)	645 (7.7)	613 (7.0)	<b>427</b> (4.9)	<b>▲117</b>	78.4%	<b>▲185</b>	69.8%
営業利益 利益率(%)	459 (3.0)	413 (2.6)	963 (5.9)	380 (2.2)	417 (2.5)	619 (3.5)	602 (3.4)	<b>262</b> (1.5)	<b>▲117</b>	69.1%	<b>▲339</b>	43.6%
(為替差損益)	(427)	<b>(▲161)</b>	(836)	<b>(▲301)</b>	<b>(▲215)</b>	(905)	(1,316)	<b>(▲211)</b>	(89)	—	<b>(▲1,528)</b>	—
経常利益 利益率(%)	1,172 (7.6)	470 (3.0)	1,968 (12.0)	176 (1.0)	467 (2.8)	1,665 (9.5)	2,133 (12.1)	<b>63</b> (0.4)	<b>▲113</b>	36.0%	<b>▲2,069</b>	3.0%
四半期純利益 利益率(%)	742 (4.8)	173 (1.1)	1,544 (9.4)	<b>▲664</b> (▲3.9)	<b>▲11</b> (▲0.1)	1,189 (6.8)	1,654 (9.4)	<b>▲2,265</b> (▲12.5)	<b>▲1,601</b>	—	<b>▲3,920</b>	—
平均為替レート	98円/\$	98円/\$	101円/\$	103円/\$	102円/\$	104円/\$	114円/\$	<b>120円/\$</b>	17円/\$		6円/\$	
期末為替レート	99円/\$	98円/\$	105円/\$	103円/\$	101円/\$	109円/\$	121円/\$	<b>120円/\$</b>	17円/\$		<b>▲1円/\$</b>	

※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

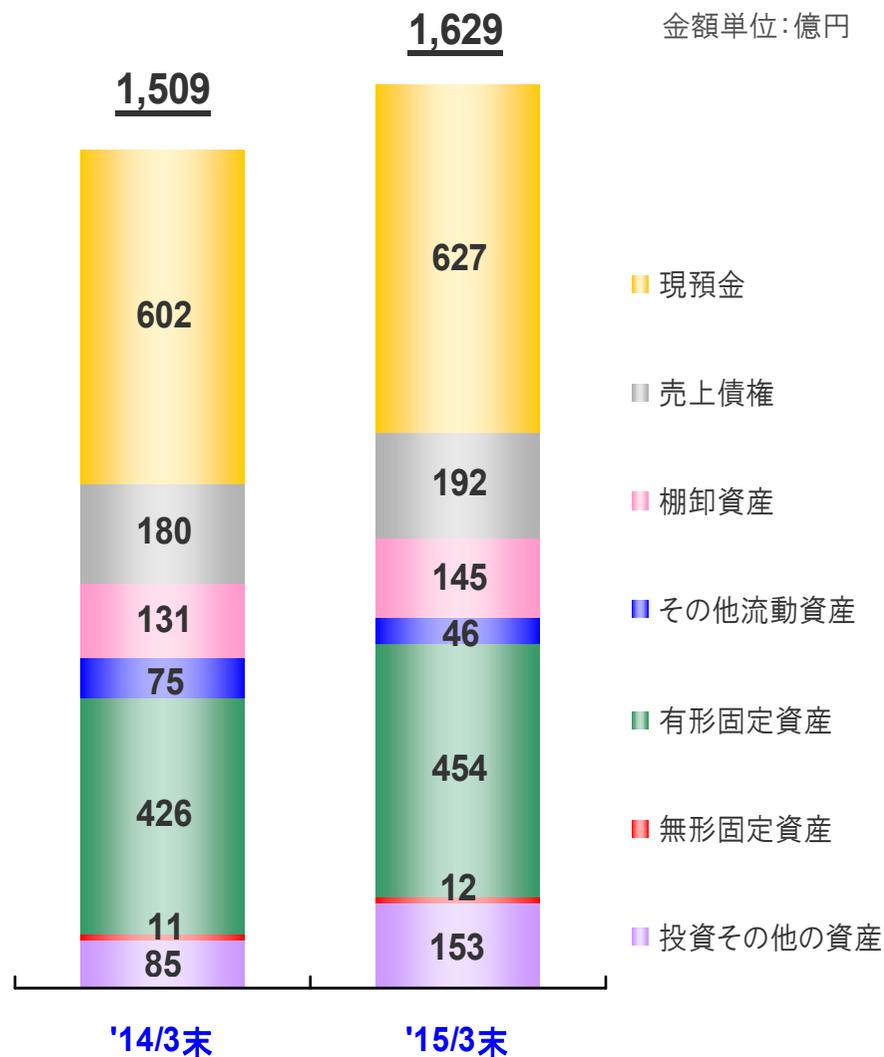
# 四半期別業績推移(2)



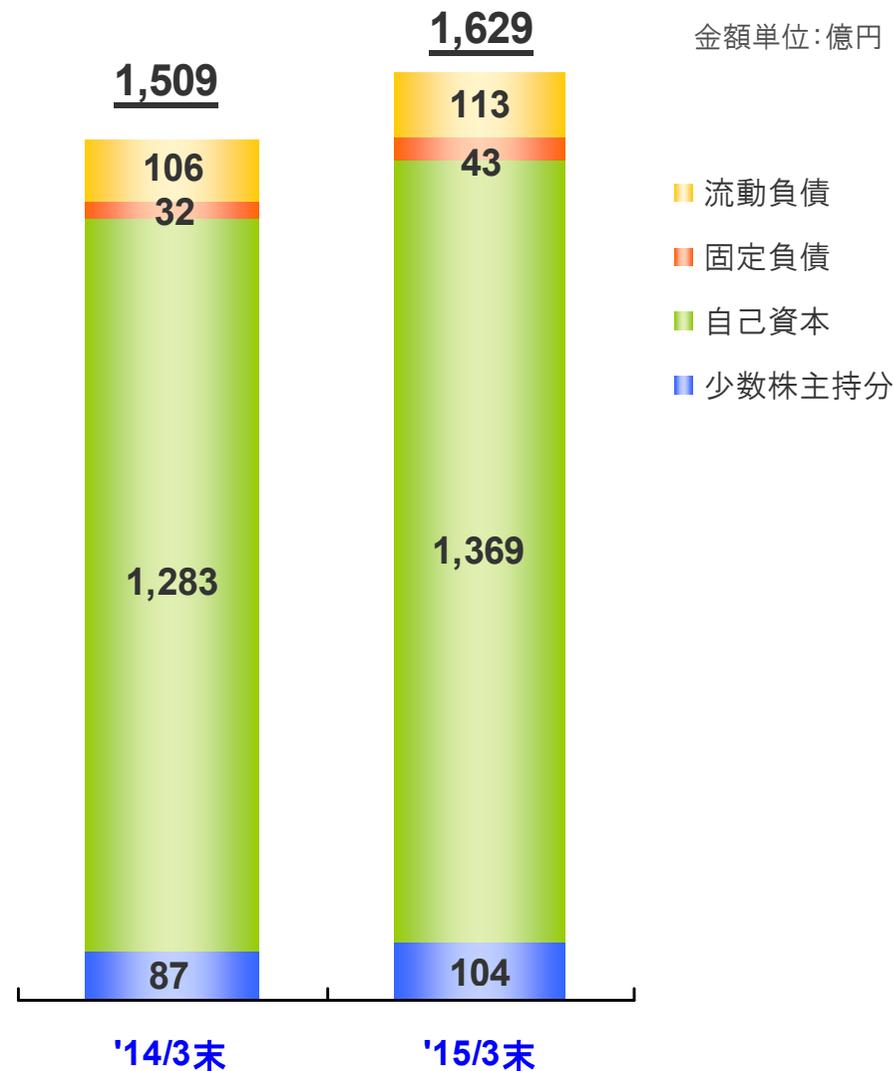
※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

# 貸借対照表の概要

## 資産



## 負債・純資産



# キャッシュ・フロー

(金額単位:百万円)

		'13年度 (通期)	'14年度 (通期)	増減額
税金等調整前当期純利益		3,385	<b>2,304</b>	<b>▲1,080</b>
減価償却費		3,679	<b>4,046</b>	367
運転資金の増減	売上債権	<b>▲604</b>	<b>▲211</b>	392
	棚卸資産	75	<b>▲17</b>	<b>▲93</b>
	仕入債務	186	<b>▲1,225</b>	<b>▲1,412</b>
その他 (※)		<b>▲4,672</b>	<b>▲310</b>	4,361
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		2,049	<b>4,586</b>	2,536
定期預金の増減		5,971	<b>▲253</b>	<b>▲6,225</b>
有形固定資産の取得・売却		<b>▲5,323</b>	<b>▲4,916</b>	406
投資有価証券の取得・売却		195	<b>▲1,881</b>	<b>▲2,076</b>
その他		8	<b>116</b>	107
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		852	<b>▲6,935</b>	<b>▲7,788</b>
借入金の増減		<b>▲475</b>	<b>▲15</b>	459
配当金の支払		<b>▲975</b>	<b>▲1,199</b>	<b>▲224</b>
自己株式の取得による支出		<b>▲1</b>	<b>▲569</b>	<b>▲567</b>
その他		<b>▲260</b>	<b>▲289</b>	<b>▲29</b>
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		<b>▲1,713</b>	<b>▲2,074</b>	<b>▲361</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,483	<b>1,857</b>	
現金及び現金同等物	期首残高	42,552	<b>45,224</b>	
	期末残高	45,224	<b>42,658</b>	
	増減額	2,672	<b>▲2,566</b>	

(※)主な要因 '13年度(通期): ▲2,802百万円(転進支援費用の支払)、 ▲572百万円(特別退職金の支払)

# 翌期の経営施策

## 電子部品事業

### 【売上拡大】

- フィルムタイプ有機ELディスプレイの販売拡大
- 海外拠点における純正車載向けタッチパネルの生産拡大
- 車載向けヘッドアップディスプレイのラインアップ提案とモジュール化による販売拡大

### 【収益改善】

- 生産性・工程品質の改善によるコスト競争力の強化
- 部品・材料の最適地調達によるコスト競争力の強化

## 電子機器事業

### 【売上拡大】

- 新商品の市場投入によるホビー用ラジコン機器の販売拡大
- 無人化・効率化・自動化ツールとしての産業用無線機器の土木・農業分野への販売拡大
- コマンド方式サーボモーターやアクチュエータ、UAV等の新分野への拡販継続

### 【収益改善】

- 工程品質の改善および日本・台湾子会社での製品開発の効率化によるコスト競争力の強化
- 最適地の生産および部材調達によるコスト競争力の強化

## 生産器材事業

### 【売上拡大】

- 韓国子会社での大型モールドベース事業の拡大
- 製品ラインアップの見直しや、販売施策の強化によるプレートの国内販売の拡大
- 中国・アセアン市場における成形合理化関連製品の拡販活動

### 【収益改善】

- 鋼材の最適地調達によるコスト競争力の強化
- 加工技術の改善によるコスト競争力の強化

# 業績見通し(1)

(金額単位：百万円)

	通期				第2四半期（累計）			
	'14年度 （実績）	'15年度 （計画）	増減額	前期比	'14年4～9 （実績）	'15年4～9 （計画）	増減額	前年同期比
電子部品	25,977	31,000	5,022	119.3%	12,530	14,700	2,169	117.3%
電子機器	10,005	9,300	▲705	92.9%	5,108	4,400	▲708	86.1%
生産器材	34,160	36,000	1,839	105.4%	16,748	17,800	1,051	106.3%
売上高	70,141	76,300	6,158	108.8%	34,385	36,900	2,514	107.3%
電子部品 利益率(%)	▲2,533 (▲9.8)	0 (—)	2,533	—	▲1,444 (▲11.5)	▲500 (▲3.4)	944	—
電子機器 利益率(%)	2,037 (20.4)	1,800 (19.4)	▲237	88.4%	1,123 (22.0)	700 (15.9)	▲423	62.3%
生産器材 利益率(%)	2,398 (7.0)	2,900 (8.1)	501	120.9%	1,356 (8.1)	1,400 (7.9)	43	103.2%
営業利益 利益率(%)	1,901 (2.7)	4,700 (6.2)	2,798	247.2%	1,036 (3.0)	1,600 (4.3)	563	154.4%
（為替差損益）	(1,794)	(▲400)	(▲2,194)	—	(689)	(▲450)	(▲1,139)	—
経常利益 利益率(%)	4,330 (6.2)	5,000 (6.6)	669	115.5%	2,133 (6.2)	1,500 (4.1)	▲633	70.3%
税引前当期純利益 利益率(%)	2,304 (3.3)	4,540 (6.0)	2,235	197.0%	2,097 (6.1)	1,550 (4.2)	▲547	73.9%
当期純利益 利益率(%)	567 (0.8)	2,500 (3.3)	1,932	440.8%	1,178 (3.4)	600 (1.6)	▲578	50.9%
平均為替レート	110円/\$	115円/\$	5円/\$		104円/\$	115円/\$	11円/\$	

※ 各セグメントの売上高および営業利益は、内部取引を含んでおります。

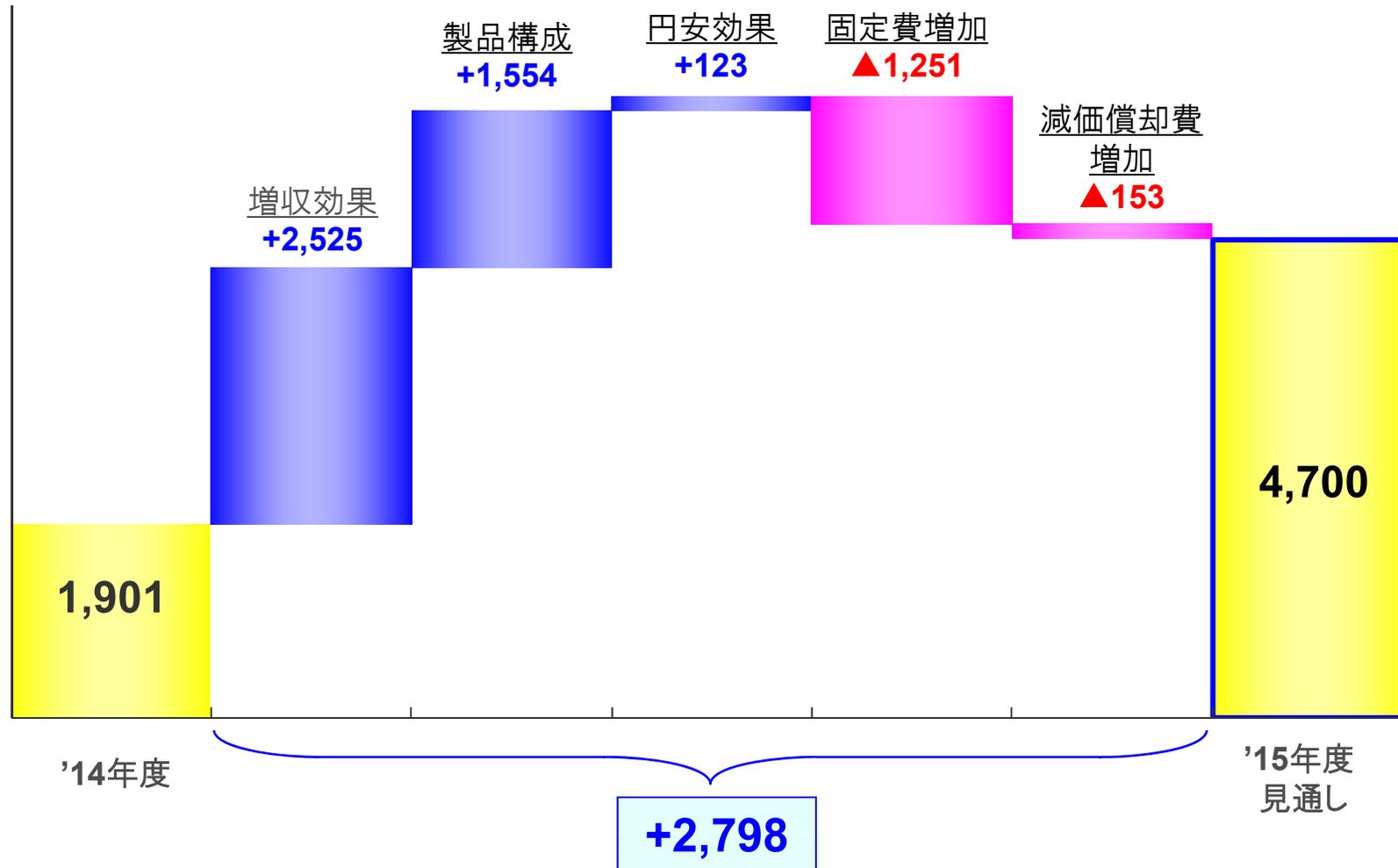
# 業績見通し(2)

(金額単位：百万円)

	通期				第2四半期(累計)			
	'14年度 (実績)	'15年度 (計画)	増減額	前期比	'14年4~9 (実績)	'15年4~9 (計画)	増減額	前年同期比
電子部品	3,391	2,700	▲691	79.6%	1,977	1,900	▲77	96.1%
電子機器	234	400	165	170.9%	132	200	67	151.0%
生産器材	2,310	2,900	589	125.5%	1,226	1,500	273	122.3%
設備投資	5,936	6,000	63	101.1%	3,336	3,600	263	107.9%
電子部品	1,821	2,000	178	109.8%	845	900	54	106.5%
電子機器	230	200	▲30	86.7%	105	100	▲5	95.2%
生産器材	1,994	2,000	5	100.3%	942	1,000	57	106.1%
減価償却費	4,046	4,200	153	103.8%	1,892	2,000	107	105.7%
電子部品	1,124	1,600	475	142.3%	483	800	316	165.5%
電子機器	383	500	116	130.3%	173	200	26	115.0%
生産器材	241	300	58	124.1%	114	150	35	131.3%
研究開発費	1,749	2,400	650	137.2%	771	1,150	378	149.1%
国内	1,373人	1,375人	2人		1,380人	1,368人	▲12人	
海外	3,851人	4,024人	173人		3,865人	4,005人	140人	
人 員	5,224人	5,399人	175人		5,245人	5,373人	128人	

# 業績見通し(3)営業利益増減分析

金額単位:百万円  
(対翌期)



## 注意事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいた見通しであり、為替などの潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは異なる結果となり得る事をご承知おき下さい。
2. 本資料に記載されている金額は、百万円は単位未満を切り捨て、億円は単位未満を四捨五入して表示しております。